きょうとていしんびょういん
京都逓信病院

平成 25 年 No.4

地域連携・医療福祉相談室だより



薬 剤 部 より

平成 25 年 4 月より院外処方箋発行を開始しました。順調に移行し当初から発行率平均 98%程度で推移しています。保険薬局から記載内容の不備を指摘して頂いたり、処方箋の有効期限切れでの持ち込み相談などの事例を少なからず経験しました。院外処方箋についての注意事項は、医局や患者さんに説明し周知したつもりですが、情報伝達の困難さを再認識させられました。

院外処方箋となった後、ジェネリックを希望される患者さんが多くなったようで、保険薬局からの後発品変更に関する調剤報告書が多数寄せられる状況です。院外処方箋となったことで、保険調剤薬局との直接連絡の機会が増え、薬・薬連携の重要性が一層身近に感じられるようになりました。

同じように、病・病連携、病・診連携においても投薬内容・服用時の注意点・調剤上の注意点などの情報を円滑に受け渡しすることが、患者さんの薬物療法を進める上で極めて重要な因子となり得ることは日常の病棟薬剤業務の中でも強く感じていたところです。

しかしながら、今までは地域連携室に薬剤部が如何にして関与すれば、病・病、病・診連携に寄与出来るのか不明でもあり、情報交換の機会も少なかったと反省しております。

地域連携の観点から、患者さんを取り巻く「薬」に関わる情報（一包化、粉砕、飲み忘れ対策など）をお薬手帳などのツールを利用して共有出来ればとの思いを膨らませております。地域に根差す病院の薬剤部として、気軽に連絡が取れ情報交換の場を何時でも提供できる存在を目指していますので、今後とも宜しく願いいたします。



薬　剤　部
部長　夏目　君幸

祇園祭山鉾巡行

コンチキチン♪祇園祭りのお囃子が聞こえてくると暑い夏の到来です。京都逓信病院の東の通り新町通に北観音山が建てられます。今年も当院から職員３人が、北観音山の町衆の御供と引手として山鉾巡行に参加しました。例年より早く梅雨が明け猛暑が心配されましたが、曇りで涼風も吹き約５時間の巡行を無事終えることができました。巡行終了後「貴重な体験を通して地域の方々と交流ができ、一体感を感じることができました。皆さんがつつがなく暮らせるよう地域医療に貢献したい。」と話しておりました。







